

---

# 序 文

---

2022（令和4）年度の「龍谷大学世界仏教文化研究センター研究活動報告書」をお届けします。2015（平成27）年4月に開設された本センターは、本センターの理念を具体化する意図で設置された「アジア仏教文化研究センター」が2020（令和2）年3月末で私立大学戦略的基盤形成支援事業としての研究期間を終え、2020年度からその事業活動を引き継ぐ形で再出発しました。

昨年度は、2020年度から始まった新型コロナウイルスによるパンデミックの影響を受けたため、誠に残念ながら、それまでのような旺盛な研究成果を挙げることはできませんでした。しかし今年度は、オンラインと対面のハイブリッド形式により、2つのシンポジウム、30回ほどの講演会・セミナー等を開催することができました。また、国際社会文化研究所との共催でも研究会を開催することができました。厳しい状況が続く中でも、このような充実した研究活動を展開できたことは、関係者の皆様のご尽力の賜物と考えております。

センター内の基礎研究部門、応用研究部門、国際研究部門の三部門、本研究センターの附属研究センターの「人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター」の主な研究活動の概要につきましては本報告書「主要研究活動概要」をご覧ください。なお、「人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター」の研究活動につきましては別冊の報告書を作成しておりますので、本報告書では研究活動一覧の掲載にとどめております。詳細は別冊の報告書をご覧ください。

本年度も『仏教文化研究叢書』、『世界仏教文化研究論叢』及び *Journal of World Buddhist Cultures*（『世界仏教文化研究』）を発行し、広く国内外に研究成果を発表しました。本研究センターが目指す仏教研究の国際的プラットフォームの実現へ向けて少しでも前進するよう、努力を重ねていく所存です。これからも、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

2023年3月  
センター長 脇田健一